

## 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	宇木古代桜樹勢回復事業
事業主体 (連絡先)	宇木古代桜ふるさと事業実行委員会 (事務局：青木孝一 090-4091-7574)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	530,000円 (うち支援金： 424,000円)

### 事業内容

- ①源平桜復活事業 (3月17日実施)：枯れてしまった紅しだれ桜の植樹を行い、紅白そろった源平桜の復活を図った。
- ②樹木医による枯れ枝除去及び治療 (12月8日実施)：地域内古代桜の治療による樹勢を回復させ歴史ある地域資源の維持保全と活用を進めた。
- ③古代桜に関するワークショップ開催による子どもたちの郷土愛醸成 (1月9日実施)：地域の財産を次世代につなげるための学習と折れた枝を活用した200個のお守りの作成をつうじ郷土愛の醸成を図った。



【ワークショップ】

### 【目標・ねらい】

- ① 地域資源の復活
- ② 地域資源の保全
- ③ 地域資源の活用
- ④ 地域資源の伝承

### 事業効果

- ① 地区の6年生を含む16人が参加したワークショップで作ったお守りは例年開催していた桜祭りの記念品として返礼を予定していたが、コロナウイルスの影響で中止となった。地域住民の協力を得てご寄付による返礼品として配布を行えた。  
本取り組みにより地域資源の再確認と必要性を訴えることができ、併せて子どもたちにも伝えることができた。
- ② 巨木である桜の枯れ枝の剪定や除去により危険回避はもとより景観整備の効果が得られた。

### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

コロナ感染の影響を受けワークショップ開催が遅れてしまったが、地域の子供たちに地域資源の伝承ができた。

### 今後の取り組み

宇木の古代桜は地域住民の宝であり貴重な財産です。桜まつりの開催などにより地域外からの関係人口の呼び込みにもつながっています。コロナ感染の拡大によりイベント事業は行えない状況でしたが、古代桜の樹勢回復や新たな桜の植樹、ワークショップで培った地域住民や子どもたちの地域資源の再確認から更なる地域活性化につなげていけるものと考えている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある